

目 次

|   |                    |    |
|---|--------------------|----|
| 建設機械化に期待する.....                                     | 田中倫治               | 1  |
| 府県における建設の機械化  |                    |    |
| 3. 神奈川県の場合.....                                     | 正田武彦               | 2  |
| 4. 福岡県の場合.....                                      | 野中半二               | 6  |
| 建設業における機械の運営  |                    |    |
| 1. 鹿島建設鶴見工作所の概要.....                                | 島津武                | 9  |
| 2. 熊谷組秋葉ダム重機械の運営.....                               | 定兼定一<br>西山正平       | 13 |
| 3. 清水建設の機械工場.....                                   | 千葉次郎               | 16 |
| 4. 前田建設田子倉モータープール運営の現状.....                         | 長沢義一               | 18 |
| アメリカにおける道路工事の一例.....                                | 佐藤松道               | 22 |
| 雲仙の有料道路について.....                                    | 桜田亮直               | 27 |
| 国鉄における除雪作業.....                                     | 石橋孝夫               | 33 |
| ころがり軸受の負荷能力と寿命の基本的な関係と<br>遊げきが負荷たわみにおよぼす影響について..... | 木村純                | 36 |
| 田子倉ダムを訪ねて.....                                      | 高木薫                | 41 |
| 建設機械用機関の性能試験報告.....                                 | ディーゼル機関<br>性能試験委員会 | 45 |
| 行事一覧・編集後記.....                                      | (物部・寺島)            | 48 |

◇表紙写真説明◇

ウッド社製 36-S ロードミキサ

第一物産株式会社

表紙の写真は米国ウッド社製モデル 36-S ロードミキサで、建設省および北海道開発局にそれぞれ1台ずつ最近納入されたものである。本機は畝状に形成された土、砂または骨材に跨って走り、それらを混合ドラムの中に完全にすくい取って、その中の縦方向懸吊式バグミルロータによって、ソイルセメント、ソイルアスファルトまたはコールドミックスアスファルト等の混合を行う機械である。材料を畝に形成して計量すること、混合ドラムの中で混合を行うこと、および縦方向のバグミルロータを採用したこと等により本機のたった1回の通過で、材料と結合剤（セメントまたはアスファルト）との配合比が合理的定量に保たれ、均一な混合が得られる。本機の混合能力は公称 150t、ソイルアスファルトの場合は1' 当り 4ft<sup>3</sup> までの畝を、ソイルセメントの場合は 5~6ft<sup>3</sup> までの畝を処理できる。機関は GM 4030 C 98 PS (1,800 rpm) で走行速度は 6.6~17 mil/h、混合速度は 10.6~27.2 ft/min である。ウッドのロードミキサは本機が最小モデルでこのほか 42-S、48-S、54-S、54-A（被けん引式）の4モデルがある。